



きずな献金 2024

「香港のグループホームで暮らす子どもたちのトラウマ・ケアのための環境づくりプロジェクト」

成果報告

はじめに

日本軍国女性部のファンドレイジングを通して、香港・ピンティン地区のスモールグループホームにおける大規模な環境改善を行うことができました。造り付け家具や棚の整備など、トラウマ・インフォームド・デザインに基づいた改修を進めました。改修は 2022 年末から 2023 年末にかけて完了し、子どもたちにはすぐに良い影響が見られました。新しい住環境は「温かい家庭」となり、子どもたちに安全で質の高い暮らしと、心の癒しを提供する場所になっています。

主な成果

① 安心感と落ち着きの向上

プライベート空間と共有空間を区分するレイアウトや家具により、不安が減り、子どもたちは放課後や就寝時も落ち着いて過ごせるようになりました。

② 責任感と主体性の向上

新しい収納や、空や山など自然のイメージデザインでしつらえた寝室が子どもたちに愛着を覚えさせ、自ら片付けや清掃に取り組めるよう、協力的で前向きな雰囲気を作り出しています。

③ 身体的安全性の向上

家具や収納の角を丸くするなど、安全に配慮した設計により、安心して生活できる環境が整いました。

④ 社会的交流と協力の促進

デザイン性をもたせたりビングや、中高生専用スペースが整備され、子ども同士の協力的な遊びや穏やかな会話が 증가しています。

⑤ 自己表現とプライバシーの促進

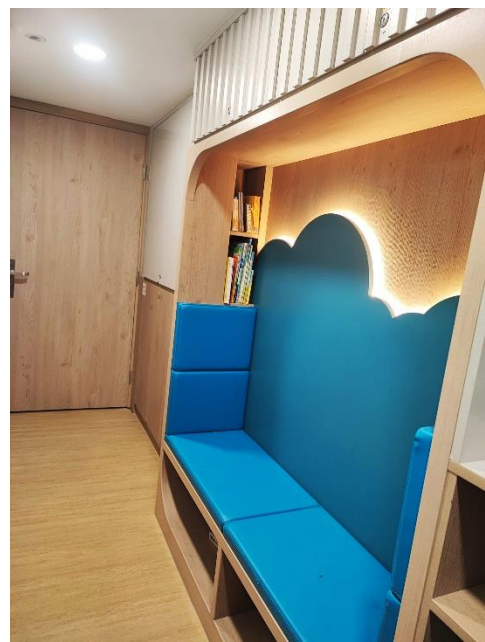
寝室や家具・照明の工夫により、子どもたちは自分の空間を自由に飾り、個性を発揮できるようになりました。

⑥ コーピングスキル（ストレス対処能力）の育成

落ち着けるコーナーの設置により、感情を整える方法を学ぶ機会が生まれ、トラウマ・インフォームド・ケアの実践が進みました。

⑦ 受け入れやすさと誇りの向上

新しい住環境は入居希望の子どもや保護者にも安心感を与え、子どもたちは誇りをもって仲間に施設を紹介しています。スタッフも作業環境の改善により、業務や研修に集中できるようになりました。



利用する子どもたちの声

「共有スペースで過ごす時間が前より長くなったよ」

「部屋がすごくかわいいから、きれいにしておきたいって思う」

「ステッカーを貼って、自分たちで好きなように壁をデザインできるから楽しい」

「自分のヘッドフォンを置いておけて、誰にも邪魔されないでいつでも音楽が聴けるからすごく安心」

おわりに

皆さまのご支援によって、スモールグループホームは単なる生活の場から、子どもたちの心身の成長と癒しを支える「家庭」と呼べる場所へと変わりました。

改めて心より感謝申し上げます。

報告者：

デスリー・マクスウェル大佐

救世軍香港及びマカオ軍団 女性部会長

2025 年 10 月 2 日